

平成30年度第1回岩手県中堅期保健師研修会
(2018/12/07)

グループワーク

職場の現任教育の
現状と課題

平成30年度第1回岩手県中堅期保健師研修会

グループワーク

タイムスケジュール

14 : 50~14 : 55 個人ワーク (ワークシート様式1、2)

【5分】

14 : 55~15 : 35 グループワーク (ワークシートによる)

【40分】

15 : 35~15 : 45 グループ発表 (1G 3分 ※重複省略)

【10分】

15 : 45~15 : 55 豊間根さんからご助言、ご講評

【10分】

グループワークの進め方

◆テーマ： 職場の現任教育の現状と課題

- ① 自己の研修履歴を振り返っての課題
- ② これからの職場研修体制に向けて

その他：感想、ご意見、ご質問・・・

※進行係、記録係（発表係）を決めていただいて・・・

1 G 職場の現任教育の現状と課題

① 自己の研修履歴を振り返っての課題

- ・ 研修参加の学び多いが振り返りの機会がない⇒業務に活かしているか
- ・ 担当分野、事例検討などの専門研修が多いが、行政研修少ない
- ・ 病院や包括での研修に参加している
- ・ 新人のときは多くの研修に参加していたが、最近はしていない
- 業務から離れると続かない
- ・ 部署を越えて学ぶ機会があるが参加できていない
- ・ 担当業務から離れてしまうと続かない
- ・ 担当を越えての情報共有の場がない

② これからの職場研修体制に向けて

- ・ 奥州市、盛岡市は市独自の新任期のものはあるが、中堅期以降のものがない
- ・ 花巻市は県のをベースに保健師、栄養士あわせたものを使っている
- ・ 3年目まではプリセプターあるが、それ以降は・・・

◆ その他（研修の感想など）

- ・ 市民との協働の大切さ
- ・ ソーシャルキャピタル勉強したい
- ・ 切る保健師（にならないように）
- ・ 連携、情報共有をして、できていると思っていた
- ・ 中堅期は幅広く、役割もたくさんある

2G 職場の現任教育の現状と課題

① 自己の研修履歴を振り返っての課題

- ・ 行政研修は、民法など理解しにくい内容もあるが行政職として必要⇒実践に活かせていない
- ・ モチベーション研修もある
- ・ 担当業務以外の分野に行きづらい、担当分野に偏りがち
- ・ 主催者が限られ、毎年同じような研修もある
- ・ 研修の時は士気が高まるが、終わると業務に追われる
- ・ 業務連絡会等で復命内容を共有
- ・ 内容を日々の業務に活かすのが難しい
- ・ 自己研修はなかなか行けない
- ・ まちづくりに活かそうな講演会等に参加している

② これからの職場研修体制に向けて

- ・ 人財育成計画がない、新任期のみあった
- ・ 県のもものは新人の時は使ったが、1年で使われなくなり、業務によってはできないままの項目もある
- ・ 中堅期の保健師が退職してしまっている現実もある
- ・ 先輩や分散配置などにより、何が足りなくて、修得すべきものが何なのかわからないところもある
- ・ 災害研修、基本的なことを学び直したい（記録の仕方など）
- ・ 中堅期研修の前・中・後があってもよい⇒年数だけでなく、経験、能力によって受けられるようにするとよい
- ・ 職場内研修の充実も必要⇒他部署、他事業とも連携しやすくなる

3G 職場の現任教育の現状と課題

① 自己の研修履歴を振り返っての課題

- ・ どのような位置づけの研修となっているのか理解して受けることができていない
- ◆ 行政研修：一般、初級、中級、指導者研修、メンター（メンティー）研修など
- ◆ 専門研修：主に業務に関わる内容が多い、業務が変わると活かせていない、実践で活かせていない、まだ自分の力にできていない、研修受講を指示されても、業務外だとなかなか身につかない、担当だけが研修を受けてしまう傾向
- ◆ 職場内研修：事例検討、モーニングセミナー（階級別、テーマ設定）、行政職員として、接遇、クレーム対応、プレゼンテーション、連携先の業務を学ぶ
- ◆ 自己研修：日程、費用の課題
- ・ 保健師として、どうあるべきかの研修が少ないのでは・・・

② これからの職場研修体制に向けて

- ・ 新任期は、3年目までプリセプターあるが、その後は・・・
- ・ 県や市独自のマニュアルところもある
- ・ 3年目以降、手薄になっている
- ・ どの市町村も新任期の指導は充実しているが・・・
- ・ チェックシート使えていないかな
- ・ 都合、日程、調整つけて、これからも研修等、参加したいと思う

私たちは、同じ時代を生きている

同じ時代を生き、「**同じ列車**」に乗っている

⇒ 性別、年代、立場、住む場所が違ってても・・・

⇒ 今回の震災で、止むをえず降りなければ
ならない方々が多くありました

⇒ 今、同じ列車に**乗り続けている**者として何が
できるのか・・・



豊間根さんから（助言者講評）

- ・それぞれの職場に感じたことを持ち帰りましょう
- ・今日、共有できたことを、それぞれの職場で話し合っていきましょう
- ・キャリアラダーを使うと、自身の不足している点
がわかり、対応しやすくなると思います
- ・人財育成を考える手段にしましょう
- ・人との出会いの機会としていきましょう